

百合が丘、緑が丘地区路線バスの減便計画に関する申し入れ

令和8年3月

神奈川中央交通株式会社
代表取締役社長 今井 雅之 様

緑が丘自治会 会長 田口謙吉
百合が丘地区社協部会 部会長 小笠原陶子
一色・緑が丘地区社協部会 副部会長 古矢俊雄
一色小学校区元気なコミュニティ協議会 会長 廣上正市

平素より、地域公共交通の維持にご尽力いただき、心より敬意を表します。

私どもは二宮町百合が丘、緑が丘地区の社協部会、緑が丘自治会、および一色小学校区内団体が連携して地域課題に取り組む組織体です。

さて、貴社が運行する二宮町百合が丘、緑が丘地区とJR二宮駅を結ぶバス路線につきましては、過去2年間に大幅な減便が実施されております。この度はこれらに加え、さらなる減便と路線再編について来春まで結論を出したい旨を二宮町に提起されたと聞いております。

言うまでもなく当該バス路線は、百合が丘、緑が丘地区における

- ・東京・横浜・小田原方面への通勤・通学
- ・高齢者等の通院、買い物、社会参加

を支える公共性の高い基幹的な交通手段です。

われわれは、運転士不足をはじめとする経営環境の厳しさなど、貴社を取り巻く状況について一定の理解を致しております。ただ、東海道線を利用した町外への通勤・就労を前提に開発されたこの地域に長い間居住する住民にとって、基幹交通の度重なる縮小は現在の生活継続、今後の安定居住、二宮町の町づくり等に決定的な影響を及ぼすと懸念しております。

つきましては、貴社に対し、下記3点の申し入れを行います。

記

1. 来春に予定されている基幹交通のさらなる減便について、貴社および町、地域住民との協議が終わるまで実施を見送り、計画を凍結していただきたい。
2. 二宮町、地区内住民を含めた三者による協議の場に参加し、地域の実情を踏まえた中期の基幹交通の在り方について早急に検討を開始していただきたい。
3. 通勤時間帯を中心とした運行の工夫や、代替交通との役割分担など、柔軟な選択肢の検討について公共交通を担う事業者の立場からさらなる知恵を出していただきたい。

今回、この申し入れをまとめるに至った各団体は、地区内基幹交通の利用促進や住民間の合意形成などに対し、地域ぐるみでの可能な協力を惜しまないつもりでおります。対立ではなく、協働による課題克服を強く望んでおります。

何卒、本申し入れの趣旨をご理解いただき、早期の対応と申し入れに対する回答を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上